

文献目録

九州探題関係文献目録
——一色範氏・一色直氏・足利直冬・斯波氏経・渋川義行・渋川満頼以降——

川 添 昭 二・朱 雀 信 城 共編

【凡例】

一 九州の南北朝期政治史は幕府（北朝）と征西府（南朝）の相克の形をとっている。幕府勢力は九州探題を指標とし、探題の活動は幕政の推移に規定されている。九州探題研究は南北朝期九州政治史の体系的把握にとって最も重要であり、南北朝期政治史の構成にとって不可欠である。

研究成果の多い今川了俊関係の研究文献目録を前号に掲げたので、本号では今川了俊に先立つ一色範氏・一色直氏・足利直冬・斯波氏経・渋川義行関係に加えて、利用者の便を考え、室町・戦国期の渋川満頼以降の研究文献目録も一括総合して掲出する。これにより前号の了俊関係と併せて九州探題関係の研究文献を網羅できる。但し、大友義鎮関係はその性格が前代のものと異なるため省略した。

なお、前号以後に気付いた今川了俊関係の脱漏分を補遺として掲げておく。

一 本目録は川添の作成にかかる文献目録カードを朱雀が整理・補訂したものである。

作者	表 題	出 典（発行所）	年月
	『史籍集覧 歴代鎮西要略』巻1～12	（近藤瓶城）	1883.10
久米邦武	行政三大区の一―鎮西考―	史学会雑誌1-8～11	1890.07～10
東京大学史料 編纂所編	『大日本史料』第6編1～47	（東京大学史料編纂所）	1901.02～2008.03
	渋川系図、一色丹羽系図	『続群書類従』5上（続群書類従完成会）	1904.06
藤田明	『征西將軍宮』	（宝文館）、のち非売品として覆刻（1915.12）、文献出版より復刻（1976.03）	1915.06
田中義成解題	右武衛殿朝鮮渡海之雜稿	（珍書同好会）	1915.09
武井一郎	『天龍道人事迹考』	（武井一郎）	1916.03
飯島茂	南北朝及室町時代九州探題の居城たりし肥前の綾部城及其の附近諸城砦の史的回顧	筑紫史談 13、のち1970.10、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1917.06
中村直勝	或る個人の花押に就いて	史林 94、のち同『中村直勝著作集5 古文書の心』（淡交社、1978.06）、日本古文書学会編『日本古文書学論集8 中世Ⅳ』（吉川弘文館、1987.07）に再録	1924.10
御調郡誌編纂 部編	『御調郡誌』	（御調郡教育会）、のち1974.05、明治文献より、1985.10、臨川書店より広島県郷土誌叢刊として復刻	1925.03
群馬県群馬郡 教育会	『群馬県群馬郡誌』	（群馬県群馬郡教育会）、のち1995.07、千秋社より復刻	1925.10
中原尋常高等 小学校	『中原村の史話伝説』		1925.12
東京大学史料 編纂所編	『大日本史料』第7編之1～32	（東京大学史料編纂所）	1927.12～2011.06
東京大学史料 編纂所	『史料綜覧』巻6～巻10	（東京大学出版会）、のち1965.05～1965.09復刊、1985.01・03・05復刊	1930.02～1938.09
岡茂政	竹井萱津城（芳野朝時代に於ける本郡の史蹟）	『柳川新報』1930年11月22日号、のち同『柳川史話（全）』（青潮社、1984.09）に再録	1930.09

秋山謙蔵	室町初期に於ける倭寇の跳梁と九州探題	歴史地理 57-4	1931.04
秋山謙蔵	室町初期に於ける九州探題の朝鮮との通交	史学雑誌 42-4	1931.04
岡茂政	筑後竹井萱津城の所在に就いて—吉野朝時代に於ける菊池一色の古戦場—	歴史地理 58-1	1931.07
塚田忠泰	岡茂政氏の『筑後竹井萱津城の所在に就いて』の批判	歴史地理 59-1	1932.01
中村栄孝	鮮初受図書人考（上）（下）	青丘学叢 7・8、のち「朝鮮初期の受図書倭人」と改題して、同『日鮮関係史の研究』上（吉川弘文館、1965.09）に再録	1932.02・05
高柳光壽	応永年間に於ける南蛮船来航の文書について	史学雑誌 43-8、のち同『高柳光壽史学論文集（上）』（吉川弘文館、1970.12）に再録	1932.08
小葉田淳	旧港及其日琉両国との交渉について	史林 20-3、のち同『中世南島通交貿易史の研究』（日本評論社、1939.09、のち1968.09、刀江書院より再版、1993.11、臨川書店より増補版）に再録	1935.07
熊田葦城	九州探題址	同『日本史蹟大系』6（平凡社）	1935.10
瀬野馬熊著、中村栄孝等編	『瀬野馬熊遺稿』	（瀬野いと）	1936.10
松尾禎作	『郷土 田代を語る』	（松尾禎作）	1939.01
肥前史談会編	『九州治乱記全（一名北肥戦誌）肥前叢書2』	（肥前史談会）、のち1973.09、青潮社より復刻	1939.02
鹿児島県	『鹿児島県史』第一巻	（鹿児島県）、のち1967.03、鹿児島県より、1980.10近藤出版社より復刊	1939.04
小葉田淳	応永年間来航の南蛮船に関する一文書	南方民族 6-1・2合併号、のち同『史説日本と南支那』（野田書店、1942.10）に再録	1940.04
藤田精一	足利高氏と直義・直冬—特説其一、中央部—	同『武家道徳史論—吉野時代を中心として—』（四海書房）	1941.11
及川儀右衛門	吉野時代に於ける安芸吉川氏	同『毛利元就』（星野書店）、のち1996.07、マツノ書店より復刻	1942.05
高柳光壽	義詮と直冬	同『足利尊氏』（春秋社）、のち1966.09改稿版、1987.09、新装版	1955.09
御園生翁甫	『大内氏史研究』	（山口県地方史学会 大内氏史刊行会）、のち1977.02、マツノ書店より復刻	1959.10
中村栄孝	「右武衛殿」の朝鮮遣使について	朝鮮学報 14、のち「「右武衛殿」の朝鮮遣使」と改題して、同『日鮮関係史の研究』上（吉川弘文館、1965.09）に再録	1959.10
臼井信義	『人物叢書 足利義満』	（吉川弘文館）、のち1989.01新装版	1960.01
萩原龍夫	洪川系図 九州探題	『群書解題』3中（続群書類従完成会）	1963.06
萩原龍夫	一色丹羽系図	『群書解題』3中（続群書類従完成会）	1963.06
瀬野精一郎	尊氏・直冬・了俊の国人組織策	日本歴史学会編『人物叢書附録』117、のち同『歴史の陥穽』（吉川弘文館、1985.06）に再録	1964.06
由良哲次	『南北朝編年史』上・下	（吉川弘文館）	1964.09
瀬野精一郎	足利直冬と年号	日本歴史 205、のち同『歴史の陥穽』（吉川弘文館、1985.06）に再録	1965.06
川添昭二	「鎮西管領」考（上）（下）	日本歴史 205・206、のち小川信編『室町政権』（有精堂、1975.05）に再録	1965.06・07
瀬野精一郎	足利直冬	笠原一男編『室町幕府 その実力者たち』（人物往来社）	1965.07
中村栄孝	『日鮮関係史の研究』上	（吉川弘文館）、のち1970.05再版	1965.09
八幡義生	足利直冬開基の鎌倉・花ヶ谷・慈恩寺と開山桂堂上人ゆかりの大壺の研究	国宝史蹟 39	1965.10
杉本尚雄	『人物叢書 菊池氏三代』	（吉川弘文館）、のち1988.04新装版	1966.04
川添昭二	『日本の武将18 菊池武光』	（人物往来社）	1966.06
松岡久人	『日本の武将20 大内義弘』	（人物往来社）	1966.10

九州探題関係文献目録（川添・朱雀）

山口隼正	南北朝期の日向国守護について（上）	豊日史学 34-2、のち「日向国守護」の一部として、同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1966.12
福田豊彦	国人一揆の一側面—その上部権力との関係を中心として—	史学雑誌 76-1、のち同『室町幕府と国人一揆』（吉川弘文館、1995.01）に再録	1967.01
豊田武監修・ 蔵市史編さん 委員会編	『蔵市の歴史』	（吉川弘文館）	1967.05
田村洋幸	『中世日朝貿易の研究』	（三和書房）	1967.09
中世史部会	九州における南北朝動乱の一こま—「佐殿方」勢力の評価をめぐって—	九州史学 41	1967.10
福田以久生	松浦党の「有浦文書」について	日本歴史 240	1968.05
川添昭二	九州における観応政変—足利直冬発給文書の考察を中心として—	竹内理三編『九州史研究』（御茶の水書房）	1968.06
瀬野精一郎	九州を知らなかった尊氏—権力者の認識不足—	月刊歴史 4、のち同『歴史の陥穽』（吉川弘文館、1985.06）に再録	1969.01
中村栄孝	歳遣船定約の成立—十五世紀朝鮮交隣体制の基本約定—	同『日鮮関係史の研究』下（吉川弘文館）	1969.12
中世史部会	観応政変と九州	九州史学 43	1970.03
一色町誌編さん 委員会編	『一色町誌』	（一色町役場）、のち1987.07、臨川書店より復刻	1970.04
正木喜三郎	九州に於ける半済の意義—南北朝内乱期に於ける—	九州史学 44・45合併号、のち同『大宰府領の研究』（文献出版、1991.10）に再録	1971.03
北群馬・渋川の 歴史編集委員 会編	『北群馬・渋川の歴史』	（北群馬渋川の歴史編集委員会）	1971.08
長谷川端訳	難太平記	『日本の古典15 太平記』（河出書房新社）	1971.08
山口隼正	南北朝後期、今川氏の肥後国支配について	鹿大史学 19、のち「肥後国守護」の一部として、同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1971.12
田村洋幸	室町前期の日朝関係—十四世紀末～十五世紀前半における偽使を中心として—	福尾教授退官記念事業会編『日本中世史論集』（吉川弘文館）	1972.07
田辺久子	南北朝期の武蔵国に関する一考察	金沢文庫研究 197、のち1987.01臨川書店より復刻	1972.09
橋本秀一郎	十四世紀能登の守護吉見氏について—能登における南北朝内乱の考察—	北陸史学 21	1972.12
笠松宏至	一通の文書の「歴史」	神奈川県史研究 18、のち同『平凡社選書86 法と言葉の中世史』（平凡社、1984.09）に再録、のち1993.12平凡社ライブラリ-32として復刊	1972.12
中村直勝	足利直冬の花押—南北両朝の文化相—	史迹と美術 43-4、のち同『中村直勝著作集5 古文書の心』（淡交社、1978.06）、日本古文書学会編『日本古文書学論集8 中世Ⅳ』（吉川弘文館、1987.07）に再録	1973.05
川添昭二	九州探題—南北朝時代からの室町幕府の九州統制について—	地方史ふくおか 17	1973.11
山口隼正	「鎮西料所」豊前国天雨田荘と安東氏	日本歴史 314、のち同『中世九州の政治社会構造』（吉川弘文館、1983.05）に再録	1974.07
瀬野精一郎編	『九州地方中世編年文書目録 南北朝時代篇』	（吉川弘文館）	1974.10
山口隼正	畠山義深・一色範親・大友親世と日向国—中世南九州政治史一隅—	鹿児島中世史研究会報 35、のち同『中世九州の政治社会構造』（吉川弘文館、1983.05）に、「日向国守護」の一部として、同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1975.12
柳田快明	室町幕府権力の北九州支配—十五世紀前半の筑前国を中心に—	九州史学 59、のち木村忠夫編『戦国大名論集7 九州大名の研究』（吉川弘文館、1983.12）に再録	1976.06
芥川龍男増補 校訂	『増補 歴代鎮西要略』上・下	（文献出版）	1976.09
川添昭二	九州探題と日鮮交渉	西南地域史研究 1、のち「九州探題・渋川満頼・義俊と日朝交渉」と改題して、同『対外関係の史的展開』（文献出版、1996.03）に再録	1977.05
服部英雄	九州探題（鎮西管領）の肥前国守護職兼補について—南北朝期以降—	遙かなる中世 2	1977.12
川添昭二	渋川満頼の博多支配及び筑前・肥前経営	竹内理三博士古稀記念会編『続荘園制と武家社会』（吉川弘文館）	1978.01

川添昭二	九州探題の衰滅過程	九州文化史研究所紀要 23	1978.03
群馬県史編さん委員会編	『群馬県史資料編5 中世1 古文書・記録』	(群馬県)	1978.12
有川宜博	豊前猪嶽合戦について	大宰府研究会会報 28	1979.03
瀬野精一郎	足利直冬	『国史大辞典』1 (吉川弘文館)	1979.03
川添昭二	一色載氏・一色直氏	『国史大辞典』1 (吉川弘文館)	1979.03
石毛忠	中世における歴史意識をめぐる対立	今井淳・小澤富夫編『日本思想論争史』(ベリカン社)	1979.05
丸山雍成	蕨城の所在地について	ふるさとわらび 9	1979.06
松山宏	肥前の守護所綾部	FHG 57、のち「室町時代の守護城下」の一部として、同『守護城下町の研究』(大学堂書店、1982.06)に再録	1979.07
竹内理三・川添昭二編	『大宰府・太宰府天満宮史料』11~14	(太宰府天満宮)	1979.08~1993.11
池永二郎	足利直冬—南北朝時代の人物たち—	歴史公論 5-9	1979.09
田北学	永享年代に於ける大友対大内の争闘 (上)(下)	『増補訂正 編年大友史料』別巻下	1979.09
久保尚文	吉見義隆書状について	かんとりい 3、のち「越中公方と奉公衆—吉見義隆をめぐる—」の一部として、同『越中中世史の研究 室町・戦国時代』(桂書房、のち1987.03再版)に再録	1979.11
瀬野精一郎編	『南北朝遺文九州編』1~7	(東京堂出版)	1980.01~1992.09
長崎県史編集委員会編	『長崎県史 古代・中世編』	(吉川弘文館)	1980.03
有川宜博	御領越後入道本仏の死	記録 20、のち少弐氏と宗氏 7 (1986.07) に再録	1980.06
山口隼正	「御料所」「探題領」管見	鹿児島中世史研究会報 39、のち同『中世九州の政治社会構造』(吉川弘文館、1983.05)に再録	1980.06
有川宜博	<豊前興国寺文書>一色直氏書状について	西日本文化 163	1980.07
久保尚文	「吉見義隆書状について」の補訂	かんとりい 4、のち「越中公方と奉公衆—吉見義隆をめぐる—」の一部として、同『越中中世史の研究 室町・戦国時代』(桂書房、のち1987.03再版)に再録	1980.11
川添昭二	「鎮西探題」足利直冬—九州における観応政変—	同編『九州中世史研究』2 (文献出版)	1980.12
川添昭二	鎮西管領斯波氏経・渋川義行	渡辺澄夫先生古稀記念事業会編『九州中世社会の研究』(第一法規出版)	1981.11
中原町史編纂委員会	『中原町史』上	(中原町)	1982.03
江平望	旧記雑録不採録の鹿児島指宿家所蔵文書について	知覧文化 19	1982.03
川添昭二	鎮西管領一色範氏・直氏	森貞次郎博士古稀記念論文集刊行会編『森貞次郎博士古稀記念 古文化論集 下巻』(同刊行会)	1982.04
有川宜博	豊前猪嶽合戦について—御領越後入道本仏の死・続考—	記録 21、のち少弐氏と宗氏 7 (1986.07) に再録	1982.06
川添昭二	九州探題と九州守護	歴史公論 8-8、のち同『九州の中世世界』(海鳥社、1994.04)に再録	1982.08
高橋公明	外交儀礼よりみた室町時代の日朝関係	史学雑誌 91-8	1982.08
外山幹夫	九州探題と太友氏	同『大名領国形成過程の研究』(雄山閣出版)	1983.01
山口隼正	『中世九州の政治社会構造』	(吉川弘文館)	1983.05
瀬野精一郎	少弐頼尚の足利直冬与同時期について	南北朝遺文九州編3月報 3、のち同『歴史の陥穽』(吉川弘文館、1985.06)に再録	1983.10
川添昭二	九州探題	『国史大辞典』4 (吉川弘文館)	1984.02

竹之内将志	歴史探訪 九州探題渋川氏の運命	とびうめ 57	1984.05
田口義之	亀寿山城宮氏について	山城志 7、のち「亀寿山城宮氏の興亡」と改題して、同『葦陽文庫1 備後の山城と戦国武士』（葦陽文庫、1997.12）に再録	1984.08
池享	大名領国制の展開と将軍・天皇	『講座日本歴史4 中世2』（東京大学出版会）、のち同『戦国・織豊期の武家と天皇』（校倉書房、2003.10）に再録	1985.02
今谷明	室町幕府の評定と重臣会議	岸俊男教授退官記念会編『日本政治社会史研究』下（塙書房）、のち同『室町幕府解体過程の研究』（岩波書店、1985.10）に再録	1985.03
橋本操六	足利直冬と二豊	大分県総務部総務課編『大分県史中世篇Ⅱ』（大分県）	1985.03
三好正来	中原町の歴史	三好不二雄先生傘寿記念誌刊行会編『肥前史研究—三好不二雄先生傘寿記念誌—』（三好不二雄先生傘寿記念誌刊行会）	1985.03
山口隼正	南北朝期の豊後国守護について—前期—	昭和59年度科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書「西日本における中世社会と宗教との総合的研究」（研究代表者小泉宜右）、のち「豊後国守護」の一部として、同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1985.03
伊藤喜良	九州探題	井上光貞・永原慶二・児玉幸多・大久保利謙編『日本歴史大系2 中世』（山川出版社）、のち1996.01同社より同編『日本歴史大系普及版5 南北朝内乱と室町幕府（上）』、のち「九州探題をめぐって」と改題して、同『中世国家と東国・奥羽』（校倉書房、1999.02）に再録	1985.05
山口隼正	一色直氏と秘曲伝授—手鑑と『中原芦声抄』—	金沢文庫研究 275	1985.09
蕨市編	『蕨市史調査報告書2 蕨市古代中世史資料年表』	（蕨市）	1986.03
福島和夫	『第十回特別展観 中世の音楽資料—鎌倉時代を中心に—解題目録』	（上野学園日本音楽資料室）	1986.10
笠松宏至	中世の安堵	朝尾直弘・網野善彦・山口啓二・吉田孝編『日本の社会史4 負担と贈与』（岩波書店）	1986.11
山口隼正	渋川満頼・渋川義俊・渋川義行	『国史大辞典』7（吉川弘文館）	1986.11
小川信	斯波 氏経	『国史大辞典』7（吉川弘文館）	1986.11
藤原良章	買えなかった一通の文書から—花押が語る足利直冬—	遙かなる中世 7、のち同『中世的思惟とその社会』（吉川弘文館、1997.05）に再録	1986.12
山口隼正	南北朝後期の豊後国守護について	東海史学 21、のち「豊後国守護」の一部として、同『南北朝期九州守護の研究』（文献出版、1989.03）に再録	1987.03
佐伯弘次	中世都市博多の発展と息浜	川添昭二先生還暦記念会編『日本中世史論攷』（文献出版）、のち久留島典子・榎原雅治編『展望日本歴史11 室町の社会』（東京堂出版、2006.10）に再録	1987.03
唐澤定市	渋河氏と渋川について	群馬文化 210	1987.04
漆原徹	南北朝初期における守護権限の一考察—中国地域にみる軍事指揮権の特殊形態—	古文書研究 27、のち「軍勢催促状と守護」と改題して、同『中世軍忠状とその世界』（吉川弘文館、1998.7）に再録	1987.07
松岡久人編	『南北朝遺文中国・四国編』1～6	（東京堂出版）	1987.11～1995.04
	渋川文書	『佐賀県史料集成 古文書編』28	1987.12
本多美徳	室町時代における少弐氏の動向—貞頼・満貞期—	九州史学 91、のち『少弐氏と宗氏』24、25（1995.01、07）に再録	1988.02
藤原良章	足利直冬の花押	青山史学 10、のち同『中世的思惟とその社会』（吉川弘文館）に再録	1988.03
上村喜久子	一色氏	今谷明・藤枝文忠編『室町幕府守護職家事典』上（新人物往來社）	1988.04
遠藤巖	応永初期の蝦夷反乱—中世国家の蝦夷問題によせて—	北海道・東北史研究会『北からの日本史』（三省堂）	1988.05
桑田和明	室町時代における筑前国若宮荘と宗像氏	駒沢史学 39・40合併号、のち「室町時代の若宮荘と宗像氏」と改題して、同『中世史研究叢書3 中世筑前国宗像氏と宗像社』（岩田書院、2003.05）に再録	1988.09

小林芳規	御調八幡宮蔵の角筆と角筆文献	内海文化研究紀要 16、のち同『角筆文献研究導論 中 日本国内篇（上）』（汲古書院、2004.09）に再録	1988.10
佐藤進一	『室町幕府守護制度の研究下—南北朝期諸国守護沿革考証編—』	（東京大学出版会）	1988.11
森茂暁	渋川氏	今谷明・藤枝文忠編『室町幕府守護職家事典』下（新人物往来社）	1988.11
小川信	中世の備中国衙と惣社造営	國學院雑誌 89-11、のち「中世備中の国衙機構と総社支配」と改題して、同『思文閣史学叢書 中世都市「府中」の展開』（思文閣出版、2001.05）に再録	1988.11
山口隼正	『南北朝期九州守護の研究』	（文献出版）	1989.03
渋川市市誌編さん委員会編	『渋川市誌5 歴史資料編』	（渋川市）	1989.03
吉井宏	南北朝時代の鎮西御家人について	安田元久先生退任記念論集刊行委員会編『中世日本の諸相』下（吉川弘文館）	1989.04
晋哲哉	島津氏の研究（上）—守護領国期を中心に—	鹿児島中世史研究会報 45	1989.07
瀬野精一郎	無年号文書の史料としての復活	季刊ぐんしょ 2-3、のち同『歴史断想』（東京堂出版、1997.03）に再録	1989.07
川添昭二	南北朝動乱期の博多	朝日新聞1989年10月26日号～11月28日号、のち朝日新聞福岡本部編『はかた学4 甦る中世の博多』（葦書房、1990.08）、同『九州の中世世界』（海鳥社、1994.04）に加筆して再録	1989.10～1989.11
島谷弘幸	足利尊氏願経	古筆学研究所編『古筆学叢林』第2巻（八木書店）	1989.12
渡辺文吉	鳥飼城考（1）（2）	ふるさとの自然と歴史 213・215	1989.08、11
斎藤満	征西府とその外交についての一考察	史泉 71	1990.03
川添昭二	足利直冬と中国地方	松岡久人編『南北朝遺文中国四国編3月報』3	1990.05
中野幡能校注	『神道大系 神社編48 太宰府』	（神道大系編集会）	1991.02
蔵市編	『新修蔵市史 資料編1 古代中世』	（蔵市）	1991.03
漆原徹	南北朝初期における幕府軍事制度の基礎的考察	小川信先生の古希記念論集を刊行する会編『小川信先生古希記念論集 日本中世政治社会の研究』（続群書類完成会）、のち「足利一門関係文書」と改題して、同『中世軍忠状とその世界』（吉川弘文館、1998.7）に再録	1991.03
渡辺文吉	鳥飼城考	福岡地方史研究 29	1991.05
森茂暁	足利尊氏	同『角川選書221 太平記の群像—軍記物語の虚構と真実—』（角川書店）	1991.10
水野恭一郎	嘉吉の乱と井原御所	鷹陵史学 18、のち同『仏教大学鷹陵文化叢書3 吉備と京都の歴史と文化』（仏教大学通信教育部、2000.09）に再録	1992.03
瀬野精一郎	九州における建武三年の歴史的意義	史観 126	1992.03
工藤敬一	シリーズ熊本大学附属図書館蔵特殊資料紹介1～12 重要文化財阿蘇家文書（34巻36冊）	熊本大学附属図書館報 東光原 2～12、のち「阿蘇家文書を読む」と改題して、同『中世古文書を読み解く—南北朝内乱と九州—』（吉川弘文館、2000.06）に再録	1992.06～1995.10
瀬野精一郎	無年号文書月日順文書目録	南北朝遺文九州編7月報 7、のち「無年号文書月日順文書目録の効用」と改題して、同『歴史断想』（東京堂出版、1997.03）に再録	1992.09
上田純一	妙楽寺と博多商人—応永の外寇をめぐる—	地方史研究協議会編『異国と九州—歴史における国際交流と地域形成—』（雄山閣出版）、同『九州中世禅宗史の研究』（文献出版、2000.10）に再録	1992.10
佐伯弘次	一色範氏・一色直氏	『日本史大辞典』1（平凡社）	1992.11
笠松宏至	足利直冬	『日本史大辞典』1（平凡社）	1992.11
緒方英夫	南軍絶対優勢期における、南北朝豊後国及び北九州地方の政治情勢—特に高崎城・岡城・臼杵城問題を中心として—	大分県地方史 148・149合併号	1993.03

九州探題関係文献目録（川添・朱雀）

洪川市市誌編さん委員会編	『洪川市誌2 通史編・上 原始～近世』	（洪川市）	1993.03
洪川市市誌編さん委員会編	『洪川市誌『通史編』別冊 洪川市の歴史年表』	（洪川市）	1993.03
河村昭一	若狭守護一色氏の在国支配機構—小守護代と在国奉行を中心に—	兵庫教育大学研究紀要第2分冊言語系教育・社会系教育・芸術系教育 13	1993.03
森茂暁	洪川満頼・洪川義俊	『日本史大辞典』3（平凡社）	1993.05
佐伯弘次	洪川義行	『日本史大辞典』3（平凡社）	1993.05
柴原直樹	毛利氏の備後国進出と国人領主	史学研究 203	1993.12
小要博	<史料紹介>「賀上家文書」について	埼玉地方史 31	1993.12
佐藤進一・網野善彦・笠松宏至編	『日本中世史を見直す』	（悠思社刊）	1994.02
漆原徹	南北朝初期における守護発給感状に関する一考察	古文書研究 38、のち「守護発給感状からみた足利一門」と改題して、同『中世軍忠状とその世界』（吉川弘文館、1998.7）に再録	1994.03
川添昭二	『九州の中世世界』	（海鳥社）	1994.04
阪田雄一	足利直義・直冬偏諱考	史翰 21	1994.08
田口義之	備後洪川氏の盛衰	山城志 12、のち、同『葦陽文庫1 備後の山城と戦国武士』（葦陽文庫、1997.12）に再録	1994.12
関周一	倭人送還交渉と三浦の形成	社会文化史学 33、のち「移動する倭人と宗氏・朝鮮王朝」の第1～3節として、同『中世日朝海域史の研究』（吉川弘文館、2002.10）に再録	1994.12
関周一	中世後期における「唐人」をめぐる意識	田中健夫編『前近代の日本と東アジア』（吉川弘文館）	1995.01
家永達嗣	『東京大学日本史学研究叢書1 室町幕府將軍権力の研究』	（東京大学日本史学研究室）	1995.02
蔵市編	『新修蔵市史 通史編』	（蔵市）	1995.03
正木喜三郎	宗像大卿と宗像御大将	ふるさとの自然と歴史 250、のち同『古代・中世宗像の歴史と伝承』（岩田書院、2004.09）に再録	1995.05
辻野正人	中世伊勢物語注と『藍染川』—大宰府安楽寺・今川了俊・飛梅説話—	古代中世国文学 7	1995.08
佐伯弘次	中世都市博多と「石城管事」宗金	史淵 133	1996.02
川添昭二	『対外関係の史的展開』	（文献出版）	1996.03
漆原徹	南北朝初期における挙状に関する基礎的考察	史学 66-2、のち「守護挙状の機能と特徴」と改題して、同『中世軍忠状とその世界』（吉川弘文館、1998.7）に再録	1997.01
橋本雄	中世日朝関係における王城大臣使の偽使問題	史学雑誌 106-2、のち「王城大臣使の偽使問題と日朝牙符制」と改題して加筆修正し、同『中世日本の国際関係—東アジア通交圏と偽使問題—』（吉川弘文館、2005.06）に再録	1997.02
永井英治	南北朝内乱期の所領返付政策について	雲雀野 19	1997.03
山口隼正	日向大慈寺入寺疏と京城諸山疏・相城諸山疏	宮崎県史研究 11	1997.03
米谷均	16世紀日朝関係における偽使派遣の構造と実態	歴史学研究 697	1997.05
藤原良章	花押が語る足利直冬	同『中世的思惟とその社会』（吉川弘文館）	1997.05
藤原良章	付、足利直冬の花押	同『中世的思惟とその社会』（吉川弘文館）	1997.05
谷口研語	足利尊氏の正室、赤橋登子	芥川龍男編『日本中世の史的展開』（文献出版）	1997.07
田中克行	肥前吉見氏についての一考察	同『虹の記憶—田中克行遺稿集—』（田中克行遺稿集編集委員会）	1997.08
小松茂美	『足利尊氏文書の研究』Ⅰ研究篇、Ⅱ図版篇、Ⅲ解説篇、Ⅳ日録・資料篇	（旺文社）	1997.09

風間洋	足利持氏専制の周辺―関東奉公衆一色氏を通して―	国史学 163	1997.11
柳田快明	河尻幸俊の足利直冬との「出会い」をめぐって	森山恒雄教授退官記念論文集刊行会編『地域史研究と歴史教育 森山恒雄教授退官記念論文集』（熊本出版文化会館）	1998.03
柳田快明	河尻幸俊・詫磨宗直と足利直冬	新熊本市史編纂委員会編『新熊本市史通史編2 中世』（熊本市）	1998.03
漆原徹	一通の恩賞宛行状の二人の発給者	古文書研究 48	1998.10
本郷和人	『満濟准后日記』と室町幕府	五味文彦編『日記に中世を読む』（吉川弘文館）	1998.11
松尾紀成	九州探題末裔と郷土の豪族	歴史研究 451	1998.12
漆原徹	「相良家文書」の足利尊氏袖判文書	史学 68-1・2	1999.01
佐伯弘次	室町期の博多商人宗金と東アジア	史淵 136	1999.03
小林一岳	地域紛争からみた南北朝の「戦争」	歴史学研究 730、同『日本中世の一揆と戦争』（校倉書房、2001.06）に再録	1999.11
李領	『倭寇と日麗関係史』	（東京大学出版会）	1999.11
服部英雄	同じ日に同じ土地を別の人間が寄進すること―肥前光浄寺文書にみる南北朝の動乱―	古文書研究 50	1999.11
工藤敬一	『中世古文書を読み解く―南北朝内乱と九州―』	（吉川弘文館）	2000.06
伊川健二	中世後期における外国使節と遣外国使節	日本歴史 626、のち同『大航海時代の東アジア―日欧通交の歴史的前提―』（吉川弘文館、2007.12）に再録	2000.07
市沢哲	『梅松論』における建武三年足利尊氏西走の位置―もう一つの多々良浜合戦・湊川合戦―	神戸大学史学年報 16	2001.05
小林一岳	『日本中世の一揆と戦争』	（校倉書房）	2001.06
丸山雍成	中世後期の武蔵国蕨城主渋川氏の軌跡	同『封建制下の社会と交通』（吉川弘文館）	2001.06
太宰府市史編集委員会編	『太宰府市史 中世史料編』	（太宰府市）	2002.10
増田欣	『中世文芸比較文学論考』	（汲古書院）	2002.02
有川宜博	足利尊氏袖判一色道猷充行状について	北九州市立歴史博物館研究紀要 10	2002.03
森茂暁	<講演録>大内氏の興隆と祖先伝承	山口県史研究 11	2003.03
亀田俊和	室町幕府執事施行状の形成と展開―下文施行システムを中心として―	史林 86-3	2003.05
荒木和憲	対馬当主宗貞盛の政治的動向と朝鮮通交	朝鮮学報 189、のち「宗貞盛の政治的動向と朝鮮通交」と改題して、同『中世対馬宗氏領国と朝鮮』（山川出版社、2007.10）に再録	2003.10
柳田快明	足利直冬の九州（肥後）下向と河尻氏	『熊本歴史叢書3 中世 乱世を駆けた武士たち』（熊本日日新聞社）	2003.12
須田牧子	中世後期における赤間関の機能と大内氏	ヒストリア 189、のち第1章部分のみ加筆集成して、同『中世日朝関係と大内氏』（東京大学出版会、2011.02）に再録	2004.04
永井英治	鎌倉末～南北朝内乱初期の裁判と執行	年報中世史研究 29	2004.05
永井英治	南北朝内乱期の使節遵行と地域社会の再編	南山経済研究 19-1	2004.06
上島有	足利直冬とその花押	同『中世花押の謎を解く―足利將軍家とその花押―』（山川出版社）	2004.11
松本一夫	南北朝期九州守護の關所地処分権について―島津氏を中心に―	国史学 184	2004.11
上島有	出雲安国寺文書と秋上家文書の足利義詮・直冬文書 ―いわゆる「問題のある文書」について―	同『中世花押の謎を解く―足利將軍家とその花押―』（山川出版社）	2004.11
太宰府市史編集委員会編	『太宰府市史 通史編Ⅱ』	（太宰府市）	2004.12

瀬野精一郎	『人物叢書 足利直冬』	（吉川弘文館）	2005.06
新名一仁	観応の擾乱と島津氏一族	都城市史編さん委員会編『都城市史通史編 中世・近世』（都城市）	2005.06
瀬野精一郎	九州から敵前逃亡した足利直冬	西日本文化 412	2005.07
瀬野精一郎	『太平記』に描かれた足利直冬	本郷 59	2005.09
伊藤幸司	日朝関係における偽使の時代	日韓歴史共同研究委員会編『日韓歴史共同研究報告書（第2分科篇）』（日韓歴史共同研究委員会）	2005.11
橋本雄	画僧霊彩の朝鮮行	禅文化研究所紀要 28	2006.02
伊万里市史編さん委員会編	『伊万里市史 原始・古代・中世編』	（伊万里市）	2006.03
亀田俊和	南北朝期室町幕府仁政方の研究	史林 89-4	2006.07
木下聡	官途状の形式とその地域的・時代的特徴について	史学雑誌 115-9	2006.09
黒嶋敏	九州探題考	史学雑誌 116-3	2007.03
吉田賢司	室町幕府による都鄙の権力編成	中世後期研究会編『室町・戦国期研究を読みなおす』（思文閣出版）、のち同『室町幕府軍制の構造と展開』（吉川弘文館、2010.07）に再録	2007.10
家永遵嗣	室町幕府の成立	学習院大学文学部研究年報 54	2008.03
藤井崇	南北朝期長門国における厚東氏権力と弘世期大内氏権力	鎌倉遺文研究 21	2008.04
坂本和久	応永三十二年の筑前国の政治状況―「蜷川家文書」筑前底井野郷文書案から―	七隈史学 10	2008.09
田口義之	亀寿山城と宮氏	山城志 19	2008.11
亀田俊和	南北朝前期九州地方施行システムの研究	東北亜細亜文化研究 18	2009.03
佐伯弘次	南北朝時代の博多警固番役	史淵 146	2009.03
歴史学研究会編集委員会	小特集 室町殿論―新しい国家像をめざして―	歴史学研究 852	2009.04
吉田賢司	室町幕府の守護・国人連合軍―永享の北九州争乱をめぐる―	年報中世史研究 34、のち同『室町幕府軍制の構造と展開』（吉川弘文館、2010.07）に再録	2009.05
佐伯弘次	鎮西探題・鎮西管領と東アジア	東アジア地域間交流研究会編『から船往来―日本を育てたひと・ふね・まち・こころ―』（中国書店）	2009.06
三浦龍昭	『征西將軍府の研究』	（青史出版）	2009.11
佐伯弘次	応永の外寇と東アジア	九州大学法文学部八十五周年／文学部六十周年記念事業実行委員会編『創立八十五周年記念論文集』上（九州大学文学部）	2010.03
亀田俊和	<部会ニュース>鎮西下知状執行システムの研究―室町幕府型施行システムの原型―	日本史研究 575	2010.07
長谷川裕峰	鰐淵寺における法義の伝承と南北朝内乱―「正平式目」の評価を巡って―	叡山学院研究紀要 33	2011.03

今川了俊関係文献目録補遺

作者	表 題	出 典（発行所）	年月
	道ゆきふり	『群書類従』18（続群書類従完成会）	1928.04
	鹿苑院殿敵嶋詣記	『群書類従』18（続群書類従完成会）	1928.04
	師説自見集 上・下	『続群書類従』17上（続群書類従完成会）	1961.03
田中新一	<書評>荒木尚著『今川了俊の研究』	国語と国文学 54-12	1977.12
静岡県地域史研究会編	『静岡県地域史研究の成果と課題―中世史・近世史―』	（静岡県地域史研究会）	1984.10

藤井隆・田中登	今川了俊筆伊予切〔源氏物語〕	同『国文学古筆入門』（和泉書院）	1985.02
	今川了俊	近松全集刊行会編『近松全集』1（岩波書店）	1985.11
小松茂美	『古筆学大成23 物語 物語注釈一』	（講談社）	1992.06
今谷明	一四—一五世紀の日本—南北朝と室町幕府—	『岩波講座日本通史9 中世3』（岩波書店）	1994.10
三角洋一	解題 撰集抄	財団法人冷泉家時雨亭文庫編『冷泉家時雨亭叢書43 源家長日記 いはでしのぶ 撰集抄』（朝日新聞社）	1997.12
松崎英一	編 資料	筑後市史編さん委員会編『筑後市史』3（筑後市）	1998.03
静岡県地域史研究会編	『静岡県地域史研究の成果と課題』II	（静岡県地域史研究会）	1998.09
上野英子	源氏物語本文の＜中世＞—今川了俊の『師説自見集』を中心に—	王朝物語研究会編『論叢源氏物語1 本文の様相』（新典社）	1999.06
兼築信行	早稲田大学図書館所蔵の古筆切資料	早稲田大学図書館紀要 48	2001.03
高橋恵美子	「鎮西大将」今川了俊像の再検討	日本女子大学大学院文学研究科紀要 9	2003.03
森猛	今川了俊と良成親王	同『九州西瀬戸中世史論攷』（海鳥社）	2004.08
新美哲彦	今川了俊筆『源氏物語』伊予切集成—新出断簡の紹介と傍記の性格—	久下裕利・久保木秀夫編『平安文学の新研究—物語絵と古筆切を考える—』（新典社）、のち「今川了俊筆『源氏物語』桐壺・夕顔巻伊予切集成」と改題して、同『源氏物語の受容と生成』（武蔵野書院、2008.09）に再録	2006.09
新美哲彦	中世における源氏物語の本文—了俊筆伊予切「夕顔」巻の本文系統—	伊井春樹監修・伊藤欽也編『講座源氏物語研究7 源氏物語の本文』（おうふう）、のち、同『源氏物語の受容と生成』（武蔵野書院、2008.09）に再録	2008.02
新美哲彦	専修大学図書館蔵今川了俊筆『源氏物語』空蟬巻	同『源氏物語の受容と生成』（武蔵野書院）	2008.09
慶應義塾大学附属研究所斯道文庫編	『慶應義塾大学附属研究所斯道文庫開設50年記念 書誌学展図録』	（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫）、のち2010.12、再編集して同編『図説書誌学—古典籍を学ぶ—』（勉誠出版）として刊行	2010.12
石澤一志	今川了俊筆「伊予切」—新出断簡の紹介と考察—	国文鶴見 45	2011.03
川添昭二・朱雀信城編	九州探題関係文献目録—今川了俊—	年報太宰府学 5	2011.03
森幸夫	南北朝動乱期の奉行人斎藤氏	鎌倉遺文研究 27	2011.04
市沢哲	『歴史科学叢書 日本中世公家政治史の研究』	（校倉書房）	2011.09
新名一仁	南北朝・室町期における渋谷一族と島津氏	小島摩文編『鹿兒島純心女子大学国際文化研究センター新薩摩学シリーズ8 新薩摩学 中世薩摩の雄 渋谷氏』（南方新社）	2011.09

（かわぞえ・しょうじ 太宰府市公文書館構想調査研究委員会顧問／九州大学名誉教授、すじゃく・しんじょう 太宰府市市史資料室囑託）